



ニューヨーク補習校だより



令和8年（2026年）6月13日 第5号 校長 河村 武磨

学校行事での学びとそれを支えるもの

ニューヨーク補習授業校ではいくつかの大切な学校行事を行います。学校行事は、特別活動という教科領域の中の位置付けられており、「なすことによって学ぶ」ということが方法原理となっています。

では、何を学ぶのか。3つ挙げられます。「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」です。学校行事においては、「全校又は学年の児童生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、**集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力（上記の3つ）を育成する**」ことを目指します。

先週、W校において、中高等部の球技大会が行われました。私はLI校勤務のため直接参観することはできませんでしたが、後で生徒の感想を教えていただき、とても嬉しく思いました。いくつか紹介いたします。

- ・二週間前からチームごとに昼食を取ったり、チームワークを高める活動（チーム名確認、名前覚えゲーム、チーム練習など）をしたりしたことで、高等部のリーダーを中心にまとまったチームができた。

- ・今回の学びは、リーダーとはどのような人か、貢献するとはどういうことであったかでした。

- ・うまく話せるかどうかドキドキしていたけど、思い切ってみんなに話しかけるようにした。一番おとなしいメンバーも楽しめるように、みんなに声をかける努力をした。

- ・チームメートの顔を見ると、みんなが楽しそうな顔をしていたのが良かったと思った。自分が楽しむのではなく、チームメイトを楽しませ、サポートすることが大切で、それがとても難しいということに気づいた。

- ・結果ではなく、チームの一員として戦うときにできる交流が一番大切だと感じた。

- ・最後の球技大会で、勉強以外の大切なことをいろいろ学べた。

感想からは、先に挙げた特別活動の目標を見事に達成していることが分かります。学校行事は、その時だけの取り組みではありません。大切なのは、事前と事後の取り組みです。何のために、どのような心構えで取り組むのか。また、体験から何を学んだのかを再確認する。このことによって、体験が経験となり成長の糧となります。補習校の行事において仲間と学ぶことの意義は、日本の学校における行事での学び以上に大きいと思いました。

そして、もう一つ、大切なことは、このような有意義な行事ができた裏には、保護者の皆様や卒業生ボランティアの協力があったことです。今回の球技大会に限らず、補習校で行われるすべての行事は、保護者の皆様の支援で成り立っております。平日、週末を問わず保護者の皆様が与えてくださった貴重なプライベートの時間と労力が、子どもたちの有意義な体験を支え

ています。保護者会の諸活動は、忙しい皆様にとって負担となる時もあると思います。ですが、現地校ではできにくい体験を積ませることは、子供たちの成長にとって大きな財産となります。我が子とその友達のために、良い体験を与えるための保護者会活動であることをご理解いただき、今後の行事へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

